

都留市と歩み続けてきた 『広報つる』が 400号



昭和29年 市制祭

昭和二十九年四月二十九日に都留市が誕生して以来、市民の皆さんに市の事業内容や行事のお知らせなどをお届けしている『広報つる』も今回で四〇〇号を迎えました。市の歴史とともに歩んで来た広報は、市民の皆さんと市を結ぶパイプ役として重要な役割を担ってきました。この四〇〇号を契機に、今まで以上に市民の皆さんに親しまれる広報づくりに取り組んでいきたいと思えます。

広報第一号

昭和二十九年六月十六日発行。タイトルは『都留市弘報』。この一号から三号まではB5版、第四号から五十九号までは新聞紙の二つ折の大きさ、いわゆるタブロイド版四ページ。創刊号では、市役所の機構図と庁舎案内図や議会についての記事が記載されている。

この当時都留市の人口は三二、〇九八人、世帯数は五、七六一。
広報一〇〇号

昭和四十三年十二月二十五日発行。印刷技術の発達にともない、写真も多く使われ始めた。大きさはB5版。明治維新からちょうど百



広報1号

年を迎えたこの年、これにちなんで都留市の百年の年表や懐かしい写真の特集を組んで実に二十ページのボリューム。

広報二〇〇号

昭和五十二年五月十五日発行。B5版十六ページ。二〇〇号を記念して広報の歩み、市制施行二十三年の記念式典の模様などを掲載。

広報三〇〇号

昭和六十年九月一日発行。B5版十六ページ。かいじ国体の開催に先駆けて行われた国体リハーサル大会の模様と広報二〇一号からのあゆみを写真で振り返っている。



広報100号



広報200号



200号を記念した特集ページ



広報300号